

2019年度 学校評価 米子北高等学校

教育目標  
中長期目標  
重点目標

地域社会に貢献し、地域から応援してもらえる学校を目指す	1年	2年	3年
【input】 【thinking】 【output】			
3つのサイクルを身につけ、対話力の向上・学習習慣の確立をはかる。			
1. 対話力の向上を目指して社会で生きる力を身につける。	A	A	A
2. 学習習慣の確立を目指して「学びに向かう力」を身につける。	B	A	B

校務分掌	目標項目	評価基準			自己評価		関係者評価	コメント
		S	A	B	中間	最終		
教務部	業務の迅速・正確な処理	期待以上に効果的に進められている	概ね、ミスなく、速やかに行事ができています	課題となる事項が残っている	A			大きなミスはなく、スムーズに処理できている。
	新学習指導要領に伴う教育課程の編成	教科横断的な視点で編成をおこなっている	計画通り、進めている	教科内での検討にとどまっている	A			各教科で研修に参加して頂き、今後の課題検討に繋がると思う。
	授業改善への取り組み	取組が活発化している	全教科での取組が進んでいる	検討のみで、取組の実施ができていない	B			各教科においてICT活用、ALの視点を持って授業を組み立てることが行われているが、まだ、全体に浸透していない。
	読書の推進	読書の習慣化につながっている	朝読書での取組姿勢が定着している	朝読書が十分にできていない	A			朝読書については概ね静かに取り組んでいる。
進学指導部	基礎学力の強化(知識・技能)	期待以上に取組の効果があらわれている	取組の効果が十分にあらわれている	指導の効果があらわれていない	B			個々の生徒の差は大きいので、個別の対応が必要である。
	社会で活躍できる力を身につける(思考力・判断力・表現力)	取組の成果があらわれている	具体策を講じて取り組んでいる	効果が見られない	A			授業方法の改革、小論文、表現サポートなど教材に工夫をしている。
	主体性を持って、多様な人々と協働して学ぶ態度を養う	取組の成果があらわれている	具体策を講じて取り組んでいる	効果が見られない	A			授業、HR等で取り組んでいるが、成果の評価までできていない。
就職指導部	進路実現に向けた生徒の意識向上を図る	生徒の積極的な取組に繋がっている	具体策を講じて取り組んでいる	効果が見られない	S			就職試験に向けて面接練習等生徒が意欲を持って取り組んでいる。
	進路を勝ち取るための力の育成を図る	生徒の積極的な取組に繋がっている	具体策を講じて取り組んでいる	効果が見られない	A			能力検査を含め、セミナーや放課後の時間等を使い計画的に進めているが、さらに効果的にしていきたい。
	進路実現のためのサポート体制の強化を図る	生徒の進路実現の成果に繋がっている	具体策を講じて取り組んでいる	十分に体制がとれていない	A			取組については、学年や主幹教諭とも連携をとって行っている。
生徒指導部	生徒の規範意識を高める	生徒の自主性が育っている	しっかりとルールを理解し、遵守している	規範意識の低さが目立っている	A			一部の生徒の携帯・スマホのルール違反があるので、引き続き取り組んでいく。
	迅速かつ適切な生徒指導に努める	生徒が、理解を深め、向上心が育っていく	適切な指導をして、立ち直りが図れている	生徒の立ち直りに至らない	A			本人、保護者にも理解頂き、適切な教育的指導を行っている。
生徒会・環境美化部	自主活動の推進(活気ある生徒会を目指して)	活気ある生徒活動が行われている	自主的に生徒会活動に取り組んでいる	生徒会活動が全生徒に浸透していない	A			執行部参加の生徒が増えて、挨拶運動など実施している。
	環境美化と安全衛生管理の推進	校内外の美化に意欲的に取り組んでいる	意識して、校内美化に取り組んでいる	取組が不十分である	B			教職員の意識が希薄でまだまだ取組が十分でない。
	環境と保健に対する意識の向上や安全管理における活動の充実	啓発活動の効果が十分にあらわれている	啓発活動に取り組んでいる	取組が不十分である	B			教職員の意識に差があり、生徒への浸透度も低い。早急な対策を必要とする。
生徒支援部	生徒一人ひとりを大切に教育の推進	生徒が自己肯定感を持ち、行動に表れている	全職員が意識した指導ができています	生徒の自己肯定感に繋がっていない	A			職員はしっかり観察している一方、自己肯定感を十分に持てない生徒の対応にまだ困難な部分を感じる。
	教職員による支援内容に係わる共通理解	全教員での共有ができ、協力体制がとれる	関係職員の支援を徹底している	連携、協力体制に不十分な面がある	A			学年単位ではしっかりと情報共有ができています。
	いじめ問題に関する理解を深める	観察力を高め、未然防止を徹底している	適切な対応が全職員でできています	対応が不十分である	A			職員の察知により早期対応ができていますが、問題解決に向けた取組において生徒自身が解決を求めない場合もあり、さらに検討が必要である。
総務部	生徒募集に関する計画立案と中学校との関係強化	立案に加え、計画の準備を整えている	現状把握からの確かな手段を計画していく	現状維持にとどまっている	A			生徒募集プロジェクトにおいて現在の行事について、より良い方向を検討している。
	教育振興会との連携の強化	保護者の積極的な活動に繋がっている	十分に連携をとってすすめている	保護者の積極的な参加に繋がらない	A			多くの保護者参加には至らないが、参加して頂いている保護者は積極的に協力的に交流して頂いている。
情報システム部	高大接続にかかる調査書、指導要録の改訂	計画が具体的に進行している	検討がされて、計画立案がなされている	検討の段階で進行するに至っていない	A			教務部との連携がとれている。
	ホームページの充実による学校の魅力アピール	さらなる工夫を取り入れ、発信している	従来の内容をスピーディーに発信している	情報提供の遅延など十分に活用していない	A			新しい活用方法を模索している。
	ICT(授業活用)、Classi(各種情報データ化)活用推進	生徒の積極的な活用ができています	先生の積極的な活用ができています	先生、生徒の活用が消極的である	A			授業での活用をさらに進めていきたい。
看護部	学習習慣を身につけ、日々計画的な学習が行うことができるように指導する	指導の効果が十分あらわれている	指導の効果があらわれている	指導の効果があらわれていない	A			学年により差があり、より個人差が大きい
	臨地実習での生徒指導(言葉遣い、態度、服装、体調管理、SNSの取扱等)を徹底する	指導の効果が十分あらわれている	指導の効果があらわれている	指導の効果があらわれていない	A			全体的に効果があらわれているが、個人差があり、まだ不十分なこともある。
事務部	経費の削減に努める	期待以上に実施できている	適切に実施できている	十分な実施ができていない	A			電気等の契約見直し、エアコンの集中管理等により、削減を進めている。